
医 療

井 口 邦 利

ヒマラヤ山岳地帯のいわば都会に住む我々にしてみれば避遠の地ともいえるところで事故や病気が発生したらという、不安感は、医師のいない登山隊には切実なものがある。だからといって何にが何んでも薬を多量に持ってゆけばよいという性質のものでもない。しろうとが付け焼き刃で薬を使うことにも危険がある。無医師の遠征隊にはそれ あれば安心できる量と、使いこなせる薬の知識 が持ってゆく薬の量の算出基準となる。

万一発病した場合を考えるよりもまず、防げるものはあらかじめ予防策を考えた方が最良であることは言うまでもない。そのため出発前に、考えられる病気と、それに対する予防接種のできるかぎりを済ませておくことにした。一般的に腸チフス、パラチフス、コレラ、種痘をすることは言うまでもないが、私達が一番神経を使ったのが急性ウイルス性肝炎である。最近ヒマラヤ地方を旅する人の多数がこれに罹り、我々の行く地方にもその危険がある、ということを知っていたため、一度発病したら長期安静を必要とするこの病気は少数パーティーの我々には登山放棄を意味するからである。これには人血清 グロブリン（ハシカの予防ワクチンといわれ、大人の血清からとったものであるためいろいろな方面での免疫性があるといわれる。）が多少なりともよい（岩と雪、21号）ということで、予防策の一つとして接種した。

また、インフルエンザの複合ワクチンも高所での風邪から肺炎ということを考えて、都会、キャラバン中での風邪に注意しながらも接種することにした。効果の程は疑問であるが、やはりやっておくに越したことはないだろう。

破傷風は必ずやっておいた方がよいものの一つである。キャラバンや都市、マナリ滞在中は慣れないズックやサンダルをはいていたため靴ずれや小さな傷は止えなかったが、雨で水はけの悪いどろんこの羊や牛の糞をこねまわしたようなぬかるみ道を通るぶしの上までつかりながら歩いたようなときは水できれいに洗った後、傷口をオキシフルで消毒し、神経質なくらい注意したが、こんな状態がニューデリーでもあるから、しろうと目には破傷風の危険は常につきまといっているといつてもよいだろう。

これらのワクチンの有効期間はそれぞれ、腸パラ1年、コレラ6ヶ月、破傷風1年、インフルエンザ複合、
・グロブリンは共に短期ということだそうである。

抗生物質、抗生物質は我々にとって最後の手段と考えた。それは副作用の影響が大きいこと、安易な使用で耐性菌を作るといざという時に効果がなくなることによってである。このような性質の薬品は耐性菌を考慮して数種持ってゆくことにした。この項で一括して書くのはおかしいかも知れないが、抗生物質製剤としてクロラムフェニコール錠、化学療法剤としてネオマイゾン、サルファ剤としてサイアジンである。量は比較的軽いもので2 - 3回の発病に足る量、あるいは発病後、医療施設のある都会へ出るまでの応急処置として必要な量を目やすとした。

整腸剤、生水や不衛生な環境での飲食の機会が多いので、ベースキャンプまでは1日おきくらいに整腸剤を腹用する予定であったが完全には実行できなかった。

生水にしても頭初は極力飲まないよう気をつけてはいたが、やはり徹底することはなかなかできず、塩素を10倍に薄めた消毒液も、およそ各自2 ~ 3度使っただけで、とてもめんどろでやっていたらなかつた。こんな訳かいずれか判らないが時々飲む整腸剤はあまり効いたという感じはなかつた。やはり薬はうまく使わないと効果はないようである。

ビタミン、主にベースキャンプ以上で毎日使う予定で用意した。ビタミン剤は数日前から飲んだ方がよいらしいが、麓は野菜もけっこうあり、高所以外はあまり気を使わなかつた。

凍傷、凍傷になりやすい者がいたので多少多めに用意した。軟膏の方がよく使うのではないかと思つたが錠剤の方の使用が多かつた。

結果として日本の5月くらいの天候なので凍傷にもならなかつたが、用心のため、ということから錠剤の服用の方が多かつたものと思う。

鎮痛剤、高所での軽い頭痛のために各キャンプ、行動用に少量ずつ配置したが、キャンプによっては全部なくなつてしまつたところもある。しかし実際高所で生ずる頭痛に効果があつたか疑問である。

その他、高所ではよく激しいセキにおそわれることがある。時にはゼンソクのようにさえ思われることがあり、それに頭痛などを供うと風邪なのか単なる高所での現象なのか判断に苦しむことがある。こんな時はセキ止めを口に入れても鎮痛剤を飲んで風邪薬を飲んでそのいずれにもきいたことはなかつた。 ヤブ医者悲しさである。

No	薬品名	種類・効能	合計数量	使用量
1	クロラムフェニコール	抗性物質製剤	20 Tab	0
2	ネオマイゾン	化学療法剤	50 Tab	0
3	サイアジン	サルファ剤	100 Tab	14 Tab
4	エンピナーズ	消炎酵素剤	20 Tab	0
5	レゾヒン	抗マラリア剤	100 Tab	0
6	ブスコパン	胃けいれん	40 Tab	0
7	三共胃腸薬	胃腸薬	90 Tab	57 Tab
8	タフマックED	胃腸薬	50 Tab	41 Tab
9	三共整腸薬	整腸薬	252 Tab	159 Tab
10	ワカ末	整腸薬	100 Tab	75 Tab
11	ソルボン	鎮痛剤	90 Tab	38 Tab
12	ルル・ゴールド	感冒薬	135 Tab	99 Tab
13	複合トローチ	のどの炎症	72 Tab	65 Tab
14	トラベルミン	吐気	50 Tab	0
15	ミネビタール・ゴールド	総合ビタミン剤	574 Tab	310 Tab
16	ブルゼニド	下剤	48 Tab	0
17	ソルベンS	下剤	10 Tab	0
18	ユベラ錠	凍傷	80 Tab	56 Tab
19	ユベラ軟膏	凍傷	4本	1本分
20	ボラギノール坐薬	じ薬	10回分	0
21	ヘルミチンL	じ薬	12回分	6回分
22	クロマイP軟膏	化膿止	10本	5本
23	メンソレータム	切傷, 他	7個	4個
24	ラブ	筋肉疲労回復	4本	0
25	ホルム散	止血	3個	0
26	パテックス	うち身	4袋	0
27	オキシドール	消毒	200cc	少量
28	ヨードチンキ	傷	100cc	少量
29	マキロン	傷	1本	1本
30	大学サンテ目薬	目薬	4本	1.5本分
31	サビオ		6袋	4袋分

No	薬品名	種類・効能	合計数量	使用量
32	包帯		10 卷	0
33	油紙		5 袋	0
34	ガゼ		3 袋	少量
35	三角巾		2 枚	0
36	紙パ		9 卷	3 卷
37	バンソウコウ		1 卷	1
38	眼帯		3 個	0
39	脱脂綿		5 包	少量
40	リップクリーム		6 本	4 本
41	サンククリーン	日焼け止め	6 本	3 本
42	Q B ゾル	虫よけ	6 本	0
43	体温計		2 本	
44	ピンセット		1 本	
45	ハサミ		1 本	
46	ツメ切り		2 本	
47	塩素	消毒	400 CC	少量